

川越市版スーパー・シティプロジェクト ～小江戸川越 次の100年へつなぐまちづくり～

概要	新技術等を取り入れながら、多極ネットワーク型都市構造を形成し、魅力的で持続的なまちづくりを推進する。
課題	・中心市街地の賑わい低下 ・市民の高度化するニーズへの対応 ・激甚化・頻発化する災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	多極ネットワーク型都市構造を形成し、魅力的で活力を生み出すまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆豊かなライフスタイルを叶える交流拠点の形成</li> <li>◆交通結節点にふさわしい快適な移動環境の充実</li> <li>◆歩行空間の整備による歩いて楽しいまちづくりの推進</li> <li>◆駅を起点に賑わいをつなげる回遊性の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺整備、交通対策、事業参画</li> <li>・賑わいの創出、商店街活性化</li> <li>・地域に応じたビジョンの作成など</li> </ul>
スマート	新たな技術を活用した、人と人とのつながりから広がるまちづくり	中～長期 (5年～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆デジタル技術を活用した暮らし、観光、子育て、防災、渋滞等に関する情報発信力の強化</li> <li>◆スマート街灯・防犯灯の導入による街の安全性の向上</li> <li>◆センサー等の新技術を活用した地域課題(見守り、空き家等)の解決</li> <li>◆新たな技術を活用した、円滑な交通ネットワーク及び持続可能な公共交通の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT利活用</li> <li>・リアルタイムな交通情報発信</li> <li>・防災情報発信</li> <li>・スマート街灯</li> <li>・地域見守りサービス</li> <li>・交通ネットワークの再構築</li> <li>・EVの導入及び運行</li> </ul>
レジリエント	安全・安心で持続可能なまちづくり	中～長期 (5年～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆帰宅困難者の滞在などを視野に入れた駅周辺における広場等の形成</li> <li>◆太陽光発電、EV等を活用した災害時のエネルギー確保</li> <li>◆無電柱化等による防災・減災の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災広場</li> <li>・蓄電技術</li> <li>・低コスト手法</li> </ul>

# 川越市版スーパー・シティプロジェクト 取組イメージ

## コンパクト（都心核+地域核）

多極ネットワーク型都市構造を形成し、魅力的で活力を生み出すまちづくり

- ◆豊かなライフスタイルを叶える交流拠点の形成
- ◆快適な移動環境の充実
- ◆歩いて楽しいまちづくりの推進
- ◆駅を起点に賑わいをつなげる回遊性の創出



## スマート（市全域）

新たな技術を活用した人と人とのつながりから広がるまちづくり

- ◆デジタル技術を活用した、情報発信力の強化
- ◆スマート街灯・防犯灯の導入による街の安全の向上
- ◆新技術を活用した地域課題（見守り、空き家等）の解決
- ◆新たな技術を活用した、円滑な交通ネットワーク及び持続可能な公共交通の構築



凡	例
	都心核
	都市的活動核
	歴史・水・緑核
	地域核
	主要幹線道路
	(赤線は整備中または未整備の路線)
	主要幹線構想道路

## レジリエント（市全域）

安全・安心で持続可能なまちづくり

- ◆帰宅困難者の滞在などを視野に入れた駅周辺における広場等の形成
- ◆太陽光発電、EV等を活用した災害時のエネルギー確保
- ◆無電柱化等による防災・減災の推進



第四次川越市総合計画（将来都市構造図）を基に作成

取組イメージは、現時点の想定であり、変更となる場合があります

川口市版スーパー・シティプロジェクト ～川口駅周辺まちづくりビジョンの実現に向けたまちづくり～

**概要**

川口駅周辺における、まちのポテンシャルの活用、社会情勢の変化及び現状の課題への対応の観点から、令和4年3月に「川口駅周辺まちづくりビジョン」を策定している。ビジョンに掲げている取組を中心に進めることにより、川口駅周辺が住みやすいまちを超えて、「住み続けたいまち」「さらなる選ばれるまち」となることを目指す。

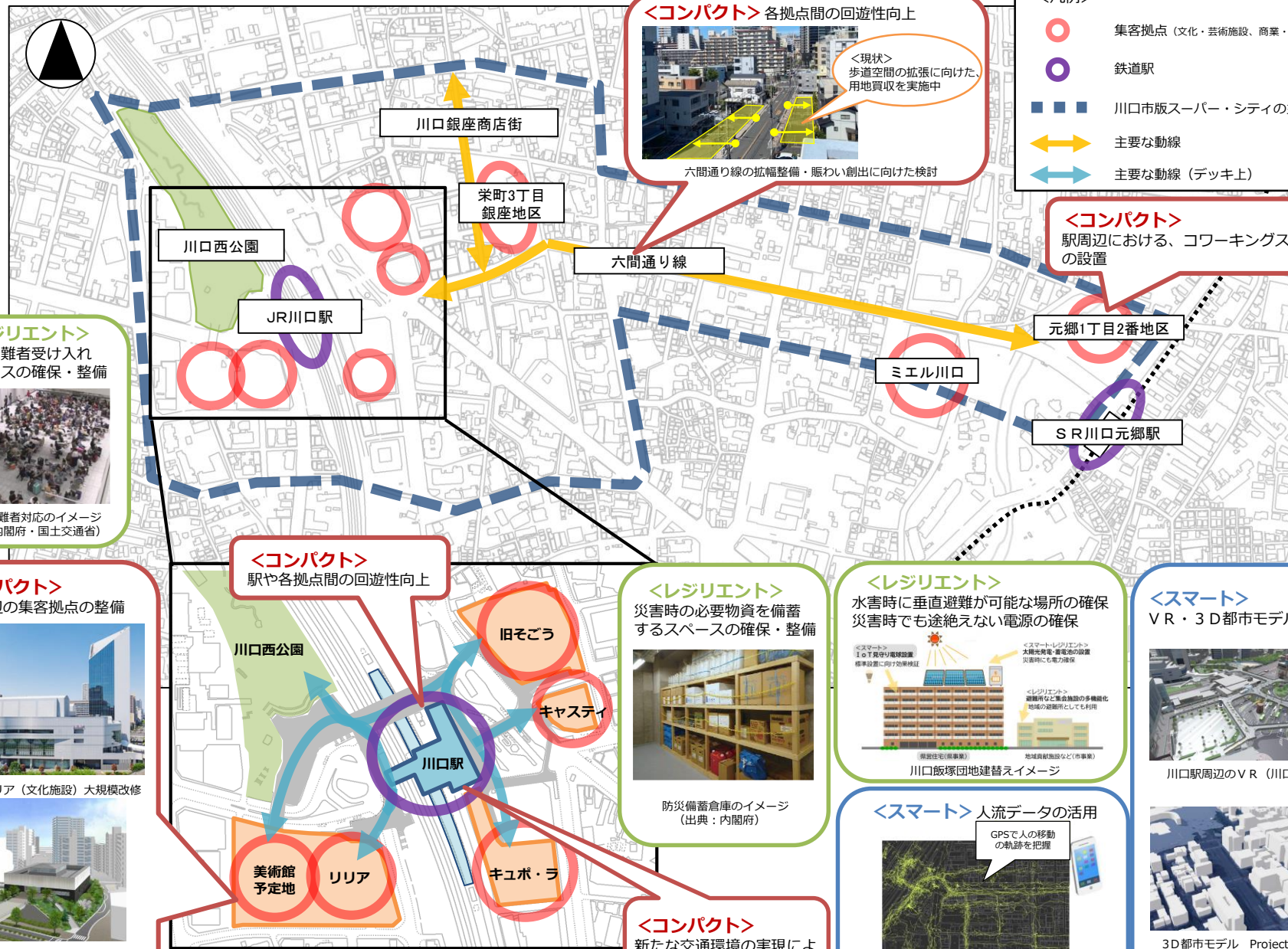
- 課題**
- ・駅周辺における、各拠点間の回遊性の不足
  - ・多様な「働き方」や「暮らし方」を支える、都市機能の不足
  - ・駅周辺利用者のニーズを的確にまちづくりに反映させるためのデジタル技術の活用
  - ・災害対応の迅速化や頻発化・激甚化する災害に対応するため、ハード・ソフト両面での防災力の確保

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	地区内外の関係人口の集積に資する、まちづくりの推進	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺の集客拠点の整備(文化・芸術施設、商業・業務施設等)</li> <li>・駅周辺における、コワーキングスペースやシェアオフィスの設置</li> <li>・駅や各拠点が有機的に繋がったウォーカブルなまちの実現</li> <li>・持続的な街の賑わい創出や、安心して暮らせる街の実現に向けた、エリアマネジメント体制の構築</li> <li>・中距離電車の停車や駅前広場の機能向上などによる交通ネットワーク強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民有地におけるウォーカブルな取組への協力</li> <li>・エリアマネジメント体制への参画</li> <li>・コワーキングスペースやシェアオフィスの設置への協力</li> </ul>
スマート	デジタル技術を活用した、効率的なまちづくりの推進	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人流データの集計により、移動特性やニーズを的確に把握し、最適な施設配置や空間形成、交通施策などを実現</li> <li>・集計した人流データのオープンデータ化による、利便性の高いサービスの提供や、民間企業の出店誘導</li> <li>・事業の合意形成や防災性向上へのVR・3D都市モデルの活用</li> <li>・生活利便性向上に資するアプリの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデータの提供による、スマートな取組への協力</li> <li>・人流データの活用事例とその効果</li> <li>・VR・3D都市モデルの活用</li> </ul>
レジリエント	川口駅周辺に相応しい防災力の確保	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅困難者受け入れスペースの確保・整備</li> <li>・自律分散型エネルギーの導入による、災害時でも途絶えない電源の確保</li> <li>・地区内外の人々が災害時に必要とする物資を備蓄するスペースの確保・整備</li> <li>・水害の際に垂直避難が可能な場所の確保</li> <li>・情報通信技術等を活用した防災性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における帰宅困難者用の一時滞在施設の整備</li> <li>・一時滞在施設へのV2L(外部給電器)の導入</li> <li>・一時滞在施設への太陽光発電や蓄電池等の導入</li> </ul>

# 川口市版スーパー・シティプロジェクト取組概要

**<凡例>**

- 集客拠点 (文化・芸術施設、商業・業務施設等)
- 鉄道駅
- ■ ■ 川口市版スーパー・シティの主要な区域
- ⇨ 主要な動線
- ⇄ 主要な動線 (デッキ上)



**<コンパクト>** 各拠点間の回遊性向上

**<現状>** 歩道空間の拡張に向けた、用地買収を実施中

六間通り線の拡幅整備・賑わい創出に向けた検討

**<コンパクト>** 駅周辺における、コワーキングスペース等の設置

**<レジリエント>** 帰宅困難者受け入れスペースの確保・整備

帰宅困難者対応のイメージ (出典：内閣府・国土交通省)

**<コンパクト>** 駅や各拠点間の回遊性向上

**<レジリエント>** 災害時の必要物資を備蓄するスペースの確保・整備

防災備蓄倉庫のイメージ (出典：内閣府)

**<レジリエント>** 水害時に垂直避難が可能な場所の確保 災害時でも途絶えない電源の確保

川口飯塚団地建替イメージ

**<スマート>** VR・3D都市モデルの活用

川口駅周辺のVR (川口市作成)

**<コンパクト>** 駅周辺の集客拠点の整備

(例) リリア (文化施設) 大規模改修

(例) 美術館 (文化施設) 建設 (川口市作成パース案)

**<スマート>** 人流データの活用

GPSで人の移動の軌跡を把握

GPS機器を利用した人流データの把握イメージ (出典：国土交通省)

**<コンパクト>** 新たな交通環境の実現による交通ネットワーク強化

3D都市モデル Project PLATEAU (出典：国土交通省)

～県内唯一の「日本遺産」構成資産を中心としたウォーカブルなまちづくり～

**概要**  
 地域コミュニティの希薄化を見据え、県内で唯一認定されている「日本遺産」の構成資産を核とし、住民主体・官民連携による持続的な賑わいを創出するとともに、歩行者空間および憩いのスペースをネットワーク化することにより回遊性の向上を図る。  
 また、周辺商店街と連携した賑わいを創出することで、来てよし、住んでよしの歩きたくなるまちづくりを推進する。




**課題**  
 ・地域コミュニティの希薄化を見据えたまちづくりを実現するための住民主体・官民連携による推進体制の構築  
 ・「日本遺産」の構成資産周辺へアクセスするための公共交通網の充実やまちなかの回遊性を高めるための環境整備や外出促進の取組の実施  
 ・災害時における持続可能なエネルギー供給体制の整備の必要性

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	「日本遺産」や観光拠点を 利用した人々の交流による賑わいづくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な都市機能を集約した都市拠点の形成</li> <li>「日本遺産」の構成資産を中心とした周辺整備と地域の観光資源を安全に回遊するためのウォーカブルなまちづくり</li> <li>公共空間等を活用した多様なイベントの開催など住民主体によるエリアマネジメントの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未利用空間(空き家、空き店舗、空き地)のリノベーションや利活用</li> <li>秩父鉄道行田市駅の利活用や駅周辺の活性化に向けた連携</li> </ul>
スマート	スマート技術を活用した 情報発信や回遊性の向上	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルサイネージ等を活用したイベント情報や災害情報の発信等</li> <li>アプリ等を活用した回遊の促進及び健康増進(歩きたくなるまちなかの創出)等</li> <li>公共交通のネットワーク機能強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティサービスの開発</li> <li>アプリの導入(ウォーカブル、AIオンデマンド交通システム)</li> </ul>
レジリエント	いつもと変わらない生活を守る災害に強いまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時でも途絶えることのない電源や水などのライフラインの確保</li> <li>田んぼダムや校庭貯留、下忍調節池の整備等流域治水対策</li> <li>無電柱化による災害に強いまちづくり</li> <li>世代や属性を問わない交流促進による災害時の協力体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー設備の設置等</li> <li>蓄電池や太陽光発電などを活用したエネルギーステーションの設置</li> </ul>




～県内唯一の「日本遺産」構成資産を中心としたウォーカブルなまちづくり～



### コンパクト・スマート関連

-  ウォーカブルゾーンの設定地域
-  ウォーカブルゾーンや各駅、地区を結ぶ交通網等の再構築
-  市街化区域

### レジリエント関連

-  田んぼダム整備予定区域
-  下忍調節池
-  その他、校庭貯留(整備予定含)
  - 東小学校、忍小学校、下忍小学校、旧太田東小学校、西中学校、行田中学校、忍中学校、長野中学校、埼玉中学校、南小学校、泉小学校、西小学校

# ～県内唯一の「日本遺産」構成資産を中心としたウォーカブルなまちづくり～

花手水やライトアップイベント等



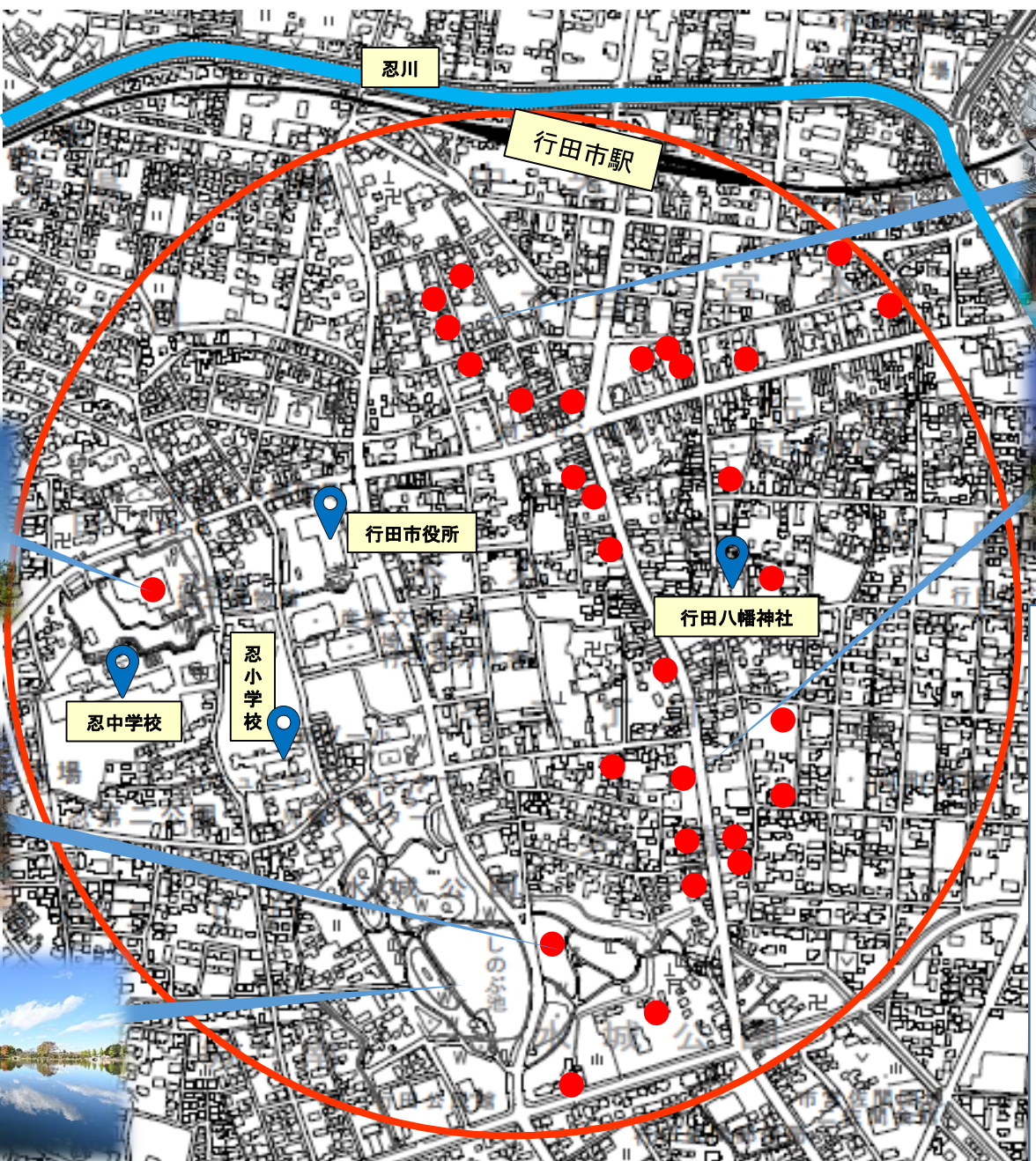
忍城※



旧忍町信用組合店舗※



水城公園



足袋蔵※  
(一例)



● 足袋蔵等日本遺産の構成資産

— ウォーカブルゾーンとして設定(歩行者が回遊しやすい空間を整備)

例示写真中※のあるものは、日本遺産の構成資産

飯能市版スーパー・シティプロジェクト

**概要**  
 本市の最大の特徴である都心に近く、身近で豊かな自然という良好な環境を生かし、多くの人が自然とのふれあいを求めて訪れる集客の仕組みや基盤づくりを進めると同時に、コンパクトに都市機能が整い人々が集うまちを目指す。まずは市街地エリア及び精明地区エリアにおいて、魅力的な地域の交流拠点の整備と新たな賑わいの創出による歩きたくなるまちづくり、デジタル技術や再生可能エネルギーを活用した安心・安全なまちづくりを官民連携で推進する。

**課題**

- ・人口減少や担い手不足等による中心市街地の活力の低下や交流機会の減少
- ・住民や来訪者が求める情報に係る発信環境の整備不足
- ・頻発する自然災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	魅力的な地域の交流拠点の整備と居心地良く歩きたくなるまちづくり	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩きたくなる道路空間の創出</li> <li>・中心市街地の活性化による賑わい創出</li> <li>・憩いの場として人が集う魅力的な交流拠点(街区公園、駅前広場、道の駅等)の整備</li> <li>・公共施設の複合化・集約化による地域拠点の整備</li> <li>・公共空間を活用した多様な官民連携イベント等の開催によるまちづくりの体制構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地周辺の活性化支援</li> <li>・魅力的な交流拠点の整備に対する技術提供・整備支援</li> <li>・公共空間を活用した官民連携イベント等の開催によるまちづくりへの参画</li> </ul>
スマート	ICT・IoT技術を活用した安心・安全なまちづくり	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルサイネージやアプリ等を活用した公共交通、災害、観光、地域イベント等の情報発信</li> <li>・都市計画情報や災害ハザード情報などのデータのオープン化による住民の安全意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルサイネージ等のIoT機器・サービスの提供</li> <li>・ビッグデータの取得・活用</li> <li>・GISの導入・活用</li> </ul>
レジリエント	災害に強いまちづくり	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地における無電柱化</li> <li>・流域治水の推進</li> <li>・指定避難所・防災拠点における再生可能エネルギーを活用した発電・蓄電設備の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化の技術支援</li> <li>・雨水貯留・流出抑制施設等の技術支援</li> <li>・電源供給設備の技術支援</li> </ul>



# 飯能市版スーパー・シティプロジェクト

## 中心市街地

- 歩きたくなる道路空間の創出
- 中心市街地の活性化による賑わい創出
- 公共空間を活用した多様な官民連携イベント等の開催によるまちづくり体制構築
- デジタルサイネージやアプリ等を活用した公共交通、災害、観光、地域イベント等の情報発信
- 無電柱化



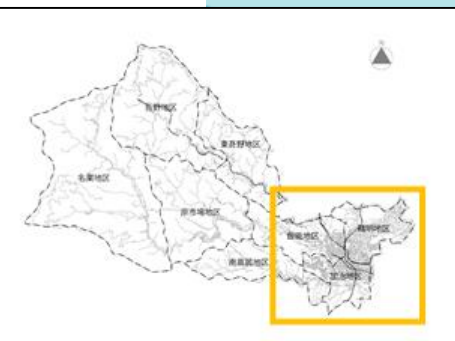
※国土交通省 まちなかウォーカーブル推進プログラムより

## 市街地エリア + 精明地区エリア

- 憩いの場として人が集う魅力的な交流拠点（街区公園、駅前広場、道の駅等）の整備
- 公共施設の複合化・集約化による地域拠点の整備
- 都市計画情報や災害ハザード情報などのデータのオープン化
- 流域治水の推進
- 指定避難所・防災拠点における再生可能エネルギーを活用した発電・蓄電設備の整備



※複合化・集約化による地域拠点整備（飯能第一小学校）



## 凡例

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 市街地ゾーン | 農業ゾーン | 丘陵ゾーン |
| 河川     | 幹線道路  | 鉄道    |



かぞ版スーパーシティ ～まちなかにぎわい創出～

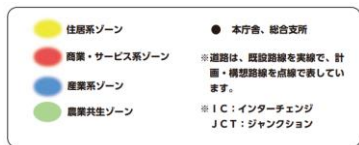
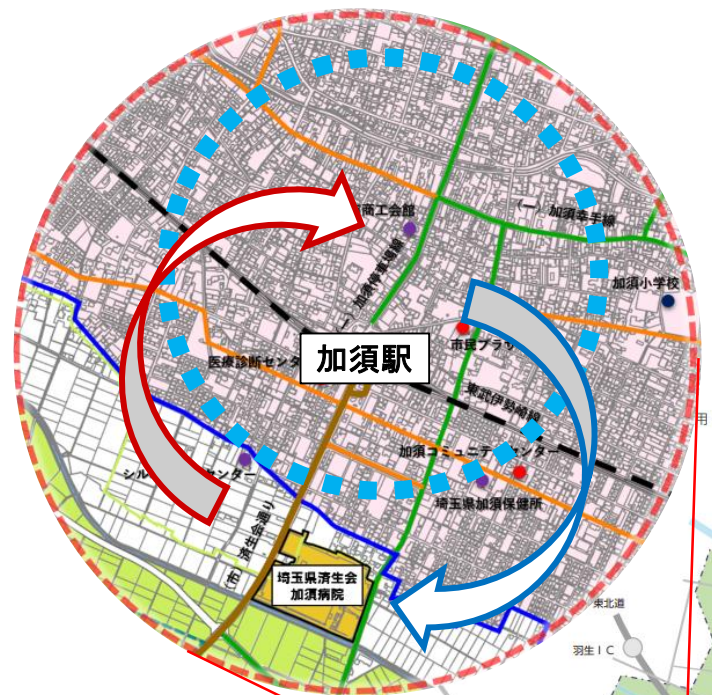
**概要** 加須市の将来都市像である「絆でつくる 緑あふれる 安心安全・元気な田園都市 加須」の実現のため、加須駅周辺を中心に「住む」「働く」「憩う」「学ぶ」「つなぐ」といった都市機能の集積を図り、市民との協働による「誰もが住み続けたいと思えるまちの創造」を目指す。

**課題**

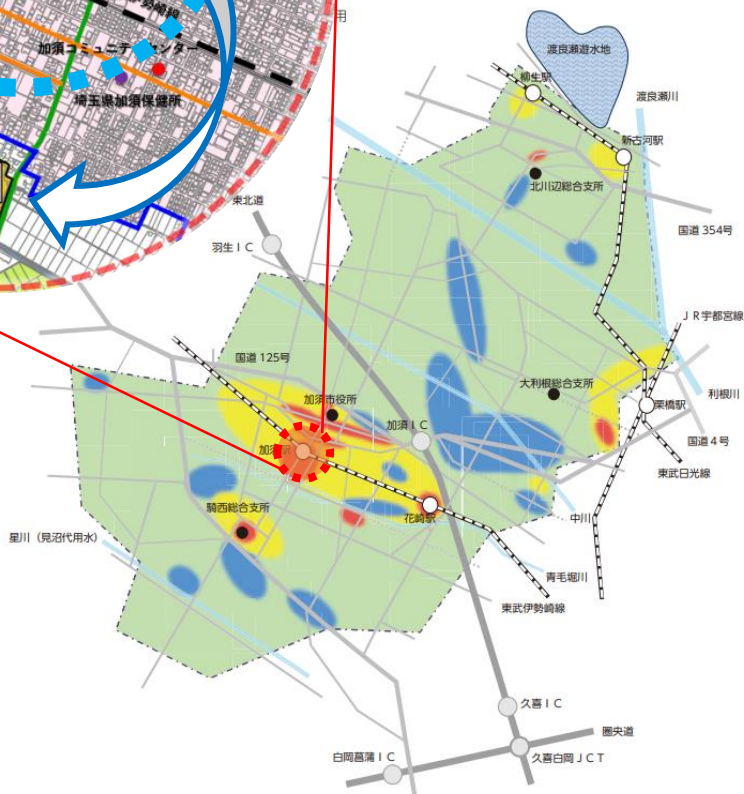
- ・少子化に伴う人口減少、長寿化の進展
- ・都市の低密度化による既存商業集積地における経営基盤の弱体化及び空洞化
- ・人口構造の変化、市民のライフスタイル・価値観の多様化に対応するICT等のデジタル技術の活用
- ・自然災害の頻発化、激甚化による災害リスクの高まり

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	加須駅を中心とするまちなかの活性化や居住促進によるにぎわいのあるまち	短中期 (3～5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道事業者や商店会組織等との連携によるにぎわい創出</li> <li>・まちなかの既存ストックの活用</li> <li>・空き家バンクや居住UIターン促進事業等による居住促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家、空き店舗、未利用地の活用</li> </ul>
スマート	地域に根付く技術と先端技術を活用し、新しい時代の流れを力にするまち	中長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した医療・保健・介護・福祉などの生活サービスの充実</li> <li>・交通の利便性、回遊性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用</li> <li>・自動運転技術</li> </ul>
レジリエント	絆と協働の力で、安心安全な暮らしを守り続ける災害に強いまち	中長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時でも途絶えない電源の確保</li> <li>・子ども食堂等の充実による地域の交流、支えあいの推進</li> <li>・交通ネットワークの充実による輸送力増強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー、蓄電池</li> <li>・子育て応援企業との連携</li> <li>・輸送力増強</li> </ul>

# かぞ版スーパーシティ ～まちなかにぎわい創出～ イメージ



★ 加須駅を中心とするまちなか(青い点線)と、様々な都市機能(赤い点線)との相互連携(白い矢印)により、活性化やにぎわい創出を目指す。



## コンパクト

- 空き家、空き店舗、未利用地の活用
- 居住促進策として転入者へ加須産米贈呈 など



## スマート

- ICTを活用した医療・保健・介護・福祉などの生活サービスの充実
- デマンド型乗合タクシーをアプリで予約 など



## レジリエント

- 災害時における電動車両等による支援
- 家庭で余っている食品を持ち寄るフードドライブ など



鴻巣市版スーパー・シティプロジェクト ～「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現～

**概要** コウノトリと共生できる豊かな自然環境づくりをベースに、本市の都市部と広大な農地が占める周辺部それぞれの特性を活かしながら、鴻巣駅周辺エリアにおける都市機能の集約と農業振興拠点としての「(仮称)道の駅こうのす」の整備を進めることで、にぎわいの創出と利便性が高く安心して暮らせる「人にやさしいまち」を目指す。

- 課題**
- ・低い地域経済循環率
  - ・農業・商業の担い手不足
  - ・超少子高齢化による交通弱者の増加と公共交通の重要性の増大
  - ・激甚化、頻発化する自然災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	地域特性を活かした拠点の形成とにぎわいのあるまちづくり	中長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鴻巣駅周辺における低未利用地、空き家・空き店舗の活用促進と公共施設の集約を図り、花で彩られたウォーカーブルなまちの形成</li> <li>・歩いて暮らせるコンパクトで魅力ある市街地の形成</li> <li>・産業振興、にぎわい創出、魅力発信などの拠点施設となる道の駅の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の活用</li> <li>・空き家・空き店舗対策</li> <li>・商店街のにぎわい創出</li> <li>・公共施設の集約</li> </ul>
スマート	デジタル技術を活用した情報発信と持続可能な産業・社会の実現	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅におけるデジタル技術を活用した効率的な運営環境の整備と「天空の里」からの映像配信や市政情報の発信</li> <li>・持続可能な農業の実現に向けたスマート農業の導入支援</li> <li>・AIを活用したデマンド交通の運行や自動運転技術の導入による地域交通の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用した地域の魅力発信</li> <li>・スマート農業</li> <li>・効率的な公共交通の実現</li> <li>・自動運転技術</li> </ul>
レジリエント	災害時における電源確保とBCP対策によるレジリエンスの強化	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設における再生可能エネルギーを活用した発電・蓄電</li> <li>・公用車やコミュニティバスのEV化と公共施設におけるEV用充電設備の整備</li> <li>・既存ITシステムの刷新による緊急時における継続的な市民サービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー機器・設備の導入</li> <li>・EV用充電設備の導入</li> </ul>

# 鴻巣市版スーパー・シティプロジェクト ～「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現～



天空の里



## (仮称)道の駅こうのす

- 産業振興、にぎわい創出、魅力発信などの拠点施設となる道の駅の整備
- デジタル技術を活用した効率的な運営環境の整備と「天空の里」からの映像配信や市政情報の発信



## 市全域

- コンパクトで魅力ある市街地の形成
- スマート農業の導入支援
- AIを活用したデマンド交通の運行や自動運転技術の導入による地域交通の充実
- 再生可能エネルギーを活用した発電・蓄電
- 公用車やコミュニティバスのEV化
- EV用充電設備の整備
- 緊急時における継続的な市民サービスの提供



## 鴻巣駅周辺

- 低未利用地、空き家・空き店舗の活用促進と公共施設の集約
- 花で彩られたウォーカブルなまちの形成



深谷版スーパー・シティプロジェクト ～渋沢栄一「論語と算盤」の教えを踏まえた深谷版SDGsの実践～

**概要**

郷土の偉人である渋沢栄一は、論語の精神から学んだ「仁義道徳」や「忠恕の心」を持ち続け、「論語と算盤」へと発展させていった。自分の利益だけではなく、社会の利益も優先する理念は、まさに誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するSDGsを推進する上で重要となる考え方である。本市では、郷土の偉人である渋沢栄一の功績や精神を踏まえ、SDGsのゴールと関連付け、持続可能なまちづくりや地域活性化の実現を目指す。これを踏まえ、本市の特性を考慮しつつ、多様なステークホルダーと連携し、SDGsの目標達成に向けた取組を推進するとともに、「誰一人取り残さないみんながうれしい ふかや」の実現に取り組む。

- 課題**
- ・移住・定住促進を通じた人口減少の抑制
  - ・地域特性を生かした産業振興と雇用の創出
  - ・脱炭素社会の実現

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	コンパクトで秩序のあるまちづくりの推進及び子育て世帯に重点を置いた移住定住促進	短期 (3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園・こども館複合施設の建設及び周辺エリアの良好な都市景観の整備</li> <li>・ 将来的な各拠点間の公共交通ネットワーク強化のため、自動運転技術の導入に向けた取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設後の施設の利活用</li> <li>・ 自動運転技術の導入、推進に向けた連携</li> </ul>
スマート	農業の強みを生かした産業の活力創出	短期 (3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜をテーマとした人を呼び込む取組の推進</li> <li>・ 農業先進都市を目指す新たな企業誘致の推進</li> <li>・ 地域内経済循環の向上に向けた地域通貨ネギーの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アグリテック</li> <li>・ 地域通貨事業</li> </ul>
レジリエント	災害に強いまちづくり及び地球温暖化対策の推進	短期 (3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅等における蓄電池の普及等による防災力の向上</li> <li>・ エネルギーの地産地消と脱炭素化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生可能エネルギー</li> </ul>

### スマート

#### 農業の強みを生かした産業の活力創出

- 野菜をテーマとした人を呼び込む取組の推進
- 農業先進都市を目指す新たな企業誘致の推進
- 地域内経済循環の向上に向けた地域通貨ネギーの活用



デジタルスタンプラリーを活用した市内回遊イベント



アグリテックアワードの開催



地域通貨ネギー (アプリタイプ)

### レジリエント

#### 災害に強いまちづくり及び地球温暖化対策の推進

- 住宅等における蓄電池の普及等による防災力の向上
- エネルギーの地産地消と脱炭素化の推進



公共施設等への太陽光発電システム導入及びエネルギーの地産地消推進



ゼロカーボンシティふかやの取組 (環境教育動画によるPR)

### コンパクト

#### コンパクトで秩序のあるまちづくりの推進及び子育て世帯に重点を置いた移住定住促進

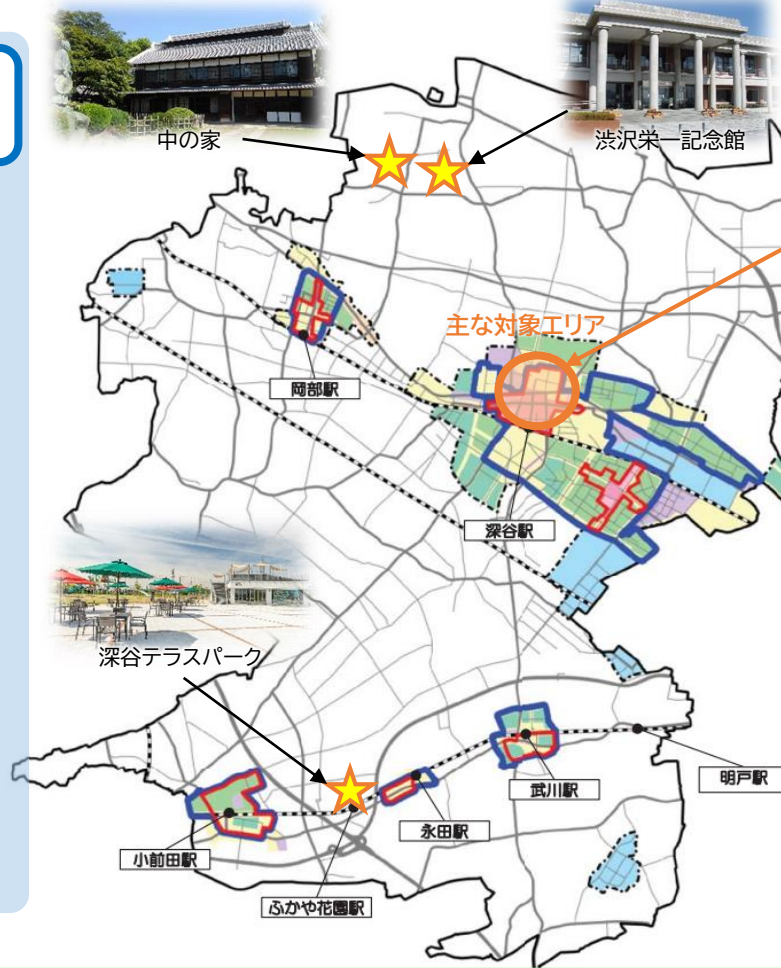
- 幼稚園・こども館複合施設の建設及び周辺エリアの良好な都市景観の整備
- 将来的な各拠点間の公共交通ネットワーク強化のため、自動運転技術の導入に向けた取組の推進



幼稚園・こども館複合施設の建設



自動運転技術の導入に向けた取組の推進



- 居住誘導区域 (＝都市機能誘導区域【居住密着型】)
- 都市機能誘導区域【拠点集積型】
- 区域区分線

- 用途地域
- 第一種低層住居専用地域
  - 第一種中高層住居専用地域
  - 第一種住居地域
  - 第二種住居地域
  - 近隣商業地域
  - 商業地域
  - 準工業地域
  - 工業専用地域

上尾版 スーパー・シティプロジェクト ～みんなで作る みんなが輝くまち あげお～

**概要** 将来都市像である「みんなで作る みんなが輝くまち あげお」の実現に向けて、市民同士がつながりを持ち、協働でまちづくりに取り組むことで、誰もが安心・安全に暮らすことができ、将来にわたり市民と地域が輝き続けるまちを目指す。

**課題**

- ・人口減少の抑制、多世代が暮らしやすい市街地環境の創出
- ・利便性の高い市民サービスの需要への対応
- ・地震・風水害等、増加する自然災害への対応

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	「コンパクト・プラス・ネットワーク」型都市構造の実現	中長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各拠点における生活に必要な施設の維持・集積とコミュニティの醸成</li> <li>・各拠点におけるゆとりと賑わいあふれる歩行空間等の創出</li> <li>・拠点間を道路や公共交通でネットワーク化した、市街地にアクセスしやすい都市構造の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点ごとのイベント・賑わいの創出</li> <li>・地域公共交通の充実</li> </ul>
スマート	新技術の活用による利便性の高いデジタルサービスの充実	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来庁が不要な電子申請サービス等の拡充</li> <li>・デジタルサイネージ等による緊急・防災情報、イベント情報、観光情報等のタイムリーな情報配信</li> <li>・バス情報のオープンデータ化の推進による公共交通の利便性向上及び利用の促進</li> </ul>	先進的なデジタル技術の実装
レジリエント	安全な暮らしを守るまちづくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等における環境配慮型設備の導入や太陽光等新エネルギーの活用、EV活用による災害時でもエネルギーが途切れない仕組みの構築</li> <li>・共助による地域防災力の向上</li> <li>・災害時の情報伝達手段の整備</li> </ul>	太陽光発電・蓄電池・EV等の新技術の提案



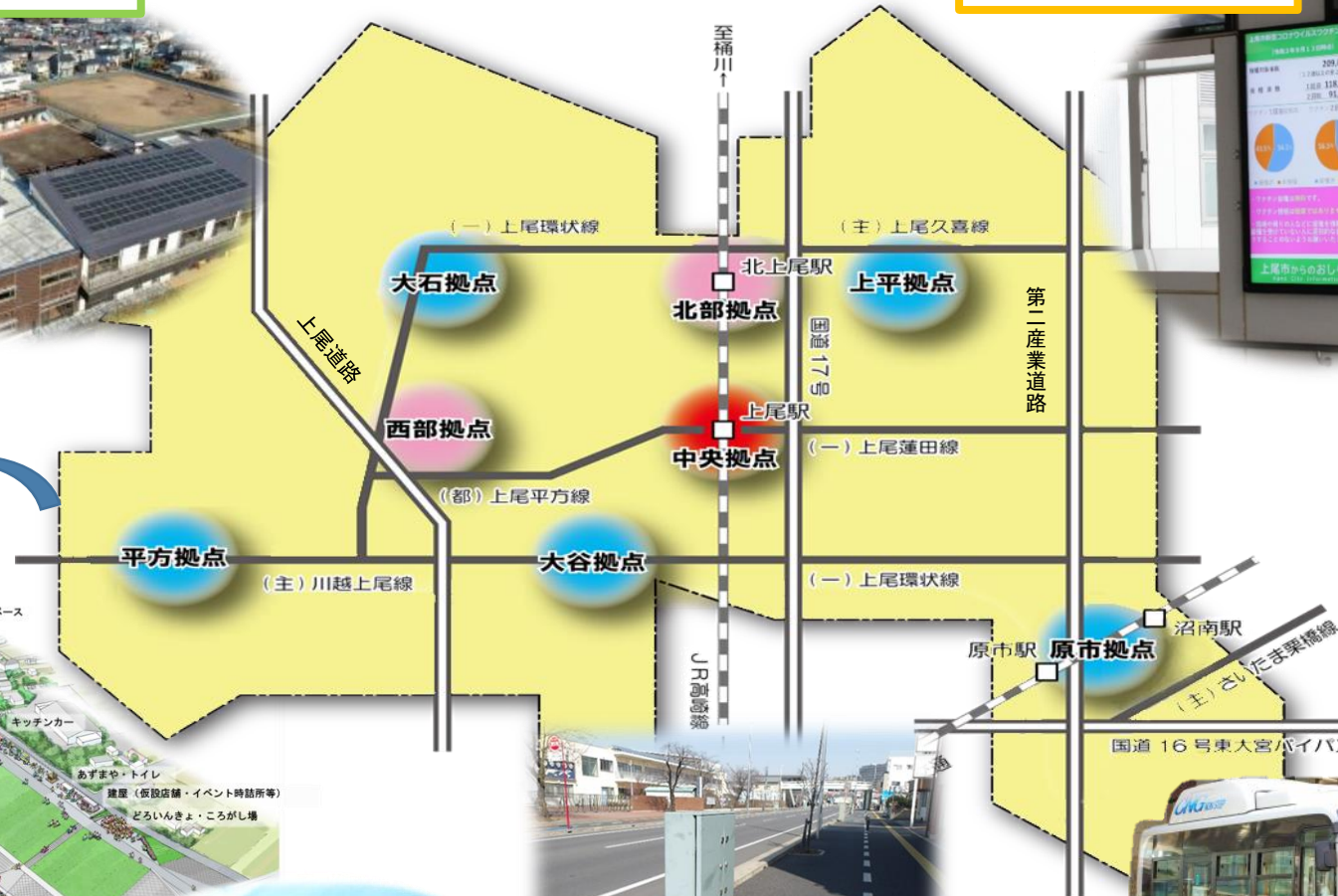
# 上尾版 スーパー・シティプロジェクト ～みんなで作る みんなが輝くまち あげお～

## レジリエント

公共施設等への太陽光パネルの設置の推進

## スマート

デジタルサイネージによる  
タイムリーな情報発信



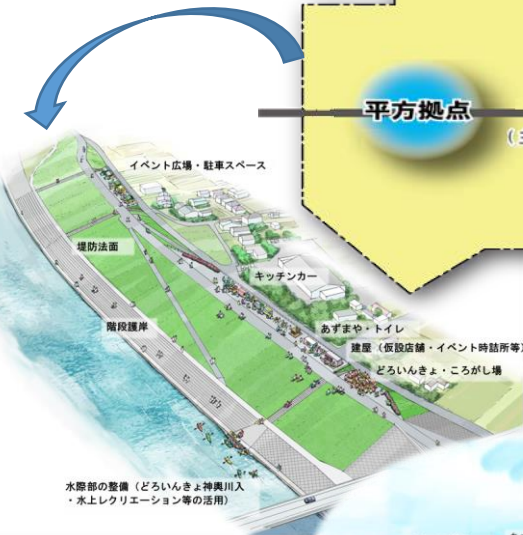
凡例

<拠点>

- 中央拠点
- 副次都市拠点
- 地域拠点

<軸>

- 交通軸(広域道路)
- 交通軸(地域道路)
- 交通軸(鉄道)・駅



## コンパクト

平方拠点におけるコミュニティの醸成と賑わいの創出

## コンパクト

ゆとりと賑わいあふれる  
歩行空間の創出

## コンパクト

公共交通のネットワークにより  
市街地にアクセスしやすい交通  
環境を整備

だれもが幸せなまち 草加 スーパー・シティプロジェクト

**概要**  
 本市の都市核として位置付けられている草加駅及び地域の文化・生活の交流拠点として位置付けられる谷塚駅、獨協大学前<草加松原>駅周辺等において、回遊性を高めるためのインフラ整備や新たな技術の活用を進める。加えて、各エリアの価値を高める持続可能なまちづくりを推進し、「だれもが幸せなまち 草加」の実現を目指す。

**課題**

- ・顔の見える人間関係の希薄化
- ・生産年齢人口、年少人口の減少による地域経済循環率の低下
- ・地球環境の悪化による災害の激甚化、頻発化

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	官民学連携によるにぎわいと魅力あるまちづくり	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な住環境の整備とウォークアブルなまちなみの形成</li> <li>・官民学連携にてエリアマネジメントの推進によるエリア価値の向上</li> <li>・公有地等を活用したにぎわいの創出</li> <li>・エリアリノベーションの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアマネジメントの体制構築</li> <li>・まちづくり(にぎわいづくり)などへの参画</li> <li>・担い手の発掘</li> </ul>
スマート	移動しやすく、あらゆる世代が利便性を感じられるだれひとり取り残さないまちづくり	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートモビリティや低炭素型・脱炭素型で環境への負荷が少ない持続可能な地域移動手段の確保</li> <li>・スマート技術を活用した市民窓口サービスの向上</li> <li>・情報システム等を活用した災害対策の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通手段の充実</li> <li>・環境負荷低減の取組</li> <li>・市民サービスの充実につながるデジタル技術の実装と効果検証</li> </ul>
レジリエント	災害に強く安全・安心で持続可能なまちづくり	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー自立度を考慮した公共施設の整備</li> <li>・スマート技術を活用した浸水状況の迅速な把握等の災害対策の強化</li> <li>・再生可能エネルギーの活用とレジリエンス機能を持つスマート街区の形成</li> <li>・無電柱化によるレジリエンス機能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネと再生可能エネルギー技術の活用</li> <li>・太陽光発電や蓄電池の活用</li> <li>・低コスト手法の無電柱化に係る技術支援</li> </ul>

<コンパクト>

官民連携によるにぎわいづくりと  
魅力ある地域づくり



良好な住環境の整備と歩きたくなる、  
ウォーカブルなまちなみの形成



エリアリノベーションの推進



公有地を活用した  
にぎわいの創出

エリアマネジメントの推進による  
エリア価値の向上

<スマート>

移動しやすく、  
あらゆる世代が利便性を感じられる  
だれひとり取り残さないまちづくり



出典:国土交通省HP

スマートモビリティ等  
持続可能な  
移動手段の確保



出典:総務省HP

スマート技術を活用した  
市民サービスの向上

<レジリエント>

災害に強く安全・安心で  
持続可能なまちづくり



無電柱化の街並み

エネルギー自立度を考  
慮した公共施設の整備  
スマート技術を活用した  
浸水状況の把握

凡例

対象  
区域



日本一のコンパクトシティ蕨 スーパー・シティプロジェクト～未来への飛躍、選ばれるまちづくりへ～

<b>概要</b>	<p>駅西口再開発事業による駅前整備や中心市街地活性化新プランに基づく交流拠点を構築するとともに、駅前から中山道へと繋ぐ駅前商店街の活性化により、市内全域ににぎわいを創出させ、市の魅力の向上を図り、選ばれる都市づくりをより一層進める。また、誰もが健康で幸せに暮らせるまちスマートウエルネスシティの推進に向けた、ウォーカブルなまちづくりを中心市街地活性化の取組と連動して進めるとともに、コミュニティ・センターの充実・強化による地域力向上、ICT技術の活用による行政情報の発信や各分野への導入、災害時の避難所の停電に備えた整備を行うことで、持続可能なまちづくりを進める。</p>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の進展による経済活動の停滞や社会保障費の増大、コミュニティ力の低下</li> <li>・中心市街地における商店の継続性、集客の核となる回遊性を生むにぎわいづくり</li> <li>・市民が健康で元気に暮らせるスマートウエルネスシティ(健幸)づくりへの対応、ICTを活用した市民サービスの向上</li> <li>・大規模災害時における電源確保</li> </ul>

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	まち全体の活性化に繋がるにぎわい創出と交流促進、スマートウエルネスシティづくりの推進	短期(3年)～ 長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現図書館、旧仮設庁舎跡地などの市有地の活用や、駅西口再開発事業などによる中心市街地活性化の推進</li> <li>・にぎわい創出と連動したスマートウエルネスシティ(健幸)づくりの推進による、誰もが健康で元気に幸せに暮らせるウォーカブルなまちの実現</li> <li>・中山道地区におけるにぎわいを創出する新たな交流拠点の整備</li> <li>・コミュニティ・センター等の充実・強化による地域力向上</li> <li>・ポートの増設によるシェアサイクル事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズ調査</li> <li>・商店街の活性化支援</li> <li>・にぎわいの創出</li> <li>・民間活力を利用した土地活用</li> </ul>
スマート	ICT技術活用による市民サービスの向上により、だれ一人取り残さないまちの実現	短期(3年)～ 長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した行政情報、防災情報伝達の強化</li> <li>・市民の利便性の向上を図るための遠隔相談の取組</li> <li>・Wi-Fi整備など公共施設のICT化</li> <li>・市民の健康寿命の延伸や医療費の抑制を図るためのICT技術導入による健康データの活用</li> <li>・電動車いすシェア事業などICTを活用した新たな交通サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転技術</li> <li>・近距離モビリティシェアリングサービス</li> <li>・行政・防災情報の伝達システムや遠隔相談システムなど新たなICT技術</li> </ul>
レジリエント	災害に対するレジリエンスの強化を図り、災害に強いまちづくりの推進	短期(3年)～ 長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーラー蓄電池ステーション導入による災害時の電源確保、再エネ・省エネの加速化</li> <li>・上下水道、橋梁などを含む公共施設・設備の耐震化</li> <li>・環境にやさしく、災害時に電源確保ができるシェアサイクル事業の充実、コミュニティバスのEV化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄電池 ・太陽光発電などを活用したエネルギーステーション</li> <li>・再生可能エネルギー</li> </ul>

# 日本一のコンパクトシティ 蕨 スーパー・シティプロジェクト ～未来への飛躍、選ばれるまちづくりへ～

## 歩きたくなるウォーカブルなまちづくり

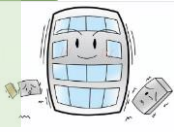
### 全体イメージ

#### スマート

市民の健康寿命の延伸や医療費の抑制を図るためのICT技術導入による健康データの活用の取組

#### レジリエント

公共施設・設備の耐震化の実施



#### スマート

ICT技術の活用した行政情報 防災情報伝達の強化、遠隔相談の実施



#### コンパクト

#### レジリエント

ポートの増設による市内シェアサイクル事業の推進、災害時の電源供給



#### スマート

電動車いすシェア事業の実施



#### スマート

公共施設のWIFI設置



#### コンパクト

駅西口地区に蕨の新たな顔となる駅前広場や魅力的な商業施設、都市型住宅、行政センターや図書館など公共公益施設を整備



#### コンパクト

図書館跡地における文化芸術の拠点整備

#### コンパクト

歴史かおる中山道地区の拠点整備

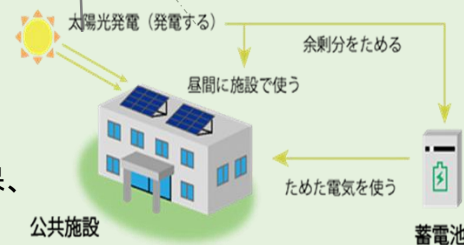
▶ 歴史民俗資料館 別館



#### コンパクト

#### レジリエント

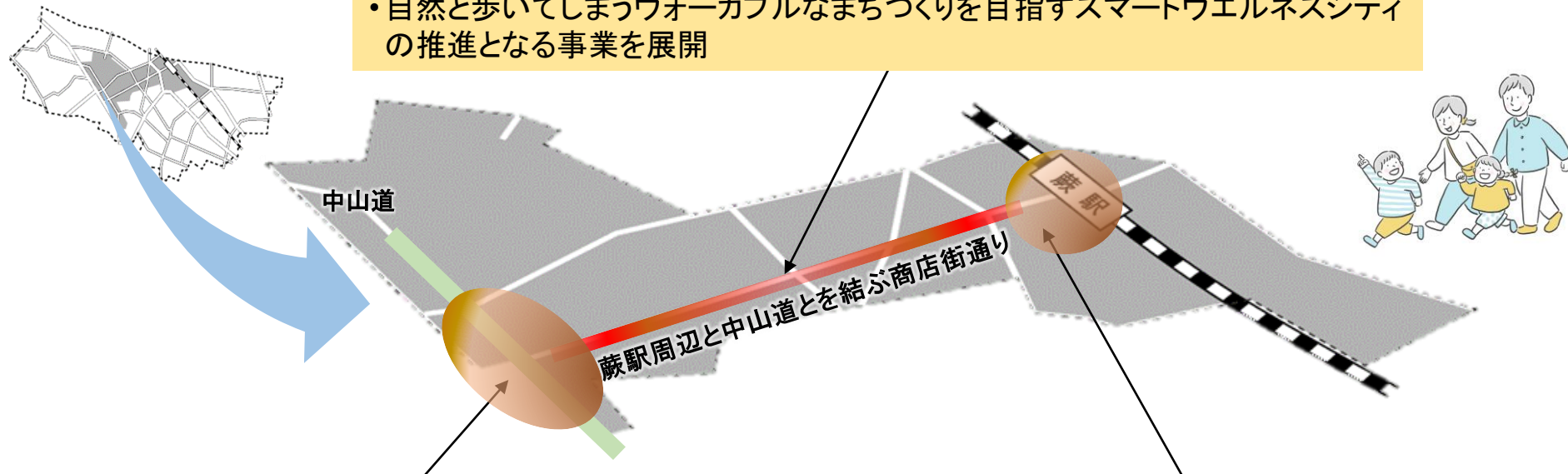
5地区にあるコミュニティ・センター(●)の充実・強化による地域力向上、ソーラー蓄電池ステーション導入による公共施設の災害時の電源確保、再エネ・省エネの加速化



# 日本一のコンパクトシティ 蕨 スーパー・シティプロジェクト ～未来への飛躍、選ばれるまちづくりへ～

## 市内中心部

- 「にぎわいの交流軸」として、リニューアル整備し、商店街を活性化
- 自然と歩いてしまうウォーカブルなまちづくりを目指すスマートウェルネスシティの推進となる事業を展開



中山道地区における、にぎわいを創出する新たな交流拠点の整備（歴史民俗資料館別館等）



にぎわいをもたらす新たな集客拠点である駅西口地区の再開発の推進

**市内中心部から市内全域のにぎわいへ！！**

志木市版スーパー・シティプロジェクト

**概要** 生産年齢人口の減少及び高齢化の進展による、成長社会から成熟社会への転換に対し、志木駅東口からいろは親水公園まで続く本町通りの沿道とその周辺エリアの中心市街地を核として、賑わいの場の創出や地域資源の活用を通して地域活性化を図るとともに、安全・安心で誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを目指す。

- 課題**
- ・生産年齢人口の減少、地域住民の高齢化に伴う地域コミュニティ力の低下
  - ・空き店舗の増加による商業機能の低下
  - ・老朽化した公共施設や道路環境の整備が必要
  - ・河川氾濫等に備えた水害対策

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	中心市街地を核とした地域活性化&ウォーカブルシティの実現	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意見を取り入れた、市民活動の拠点となる複合施設整備</li> <li>・空き店舗等を活用した地域活性化</li> <li>・中心市街地の活性化にあわせた歩きやすさの向上、改善による回遊促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設集約化</li> <li>・民間店舗の出店</li> <li>・イベントの計画、運営、協賛</li> <li>・空き店舗等の活用</li> <li>・情報発信</li> </ul>
スマート	ICT技術を活用した地域の課題解決及び安全・安心なまちづくり	中期(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド交通による高齢者や障がい者等の外出促進</li> <li>・アプリ等を活用した、市民等の自発的な健康づくりへのインセンティブとなる施策</li> <li>・ICT技術を活用した人流促進など地域課題解決に向けた取組</li> <li>・デジタルサイネージ等を活用した地域情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートモビリティ</li> <li>・高度通信技術</li> </ul>
レジリエント	災害を跳ね返す強靱なまちづくり	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時でも途絶えない電源の確保</li> <li>・公共施設の再整備による防災拠点化</li> <li>・遠方監視システムと連携したポンプ運転等による、浸水被害の抑制</li> <li>・河川及び道路冠水箇所のカメラや水位センサーの監視等による、円滑な避難誘導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電、蓄電池</li> <li>・防災設備(水位センサー、カメラ)</li> </ul>

# 志木市版スーパー・シティプロジェクト イメージ

## コンパクト

### エントランスゾーン

まちの玄関口として、来訪者のおもてなし機能と地域住民の生活を支える機能の向上を図る



志木駅東口

### コミュニティゾーン

南北を結ぶ地域コミュニティのハブとして、本町通りの整備に合わせた沿道の商業的活用促進と、市民会館・市民体育館の再整備による交流機能の充実を図る



新複合施設

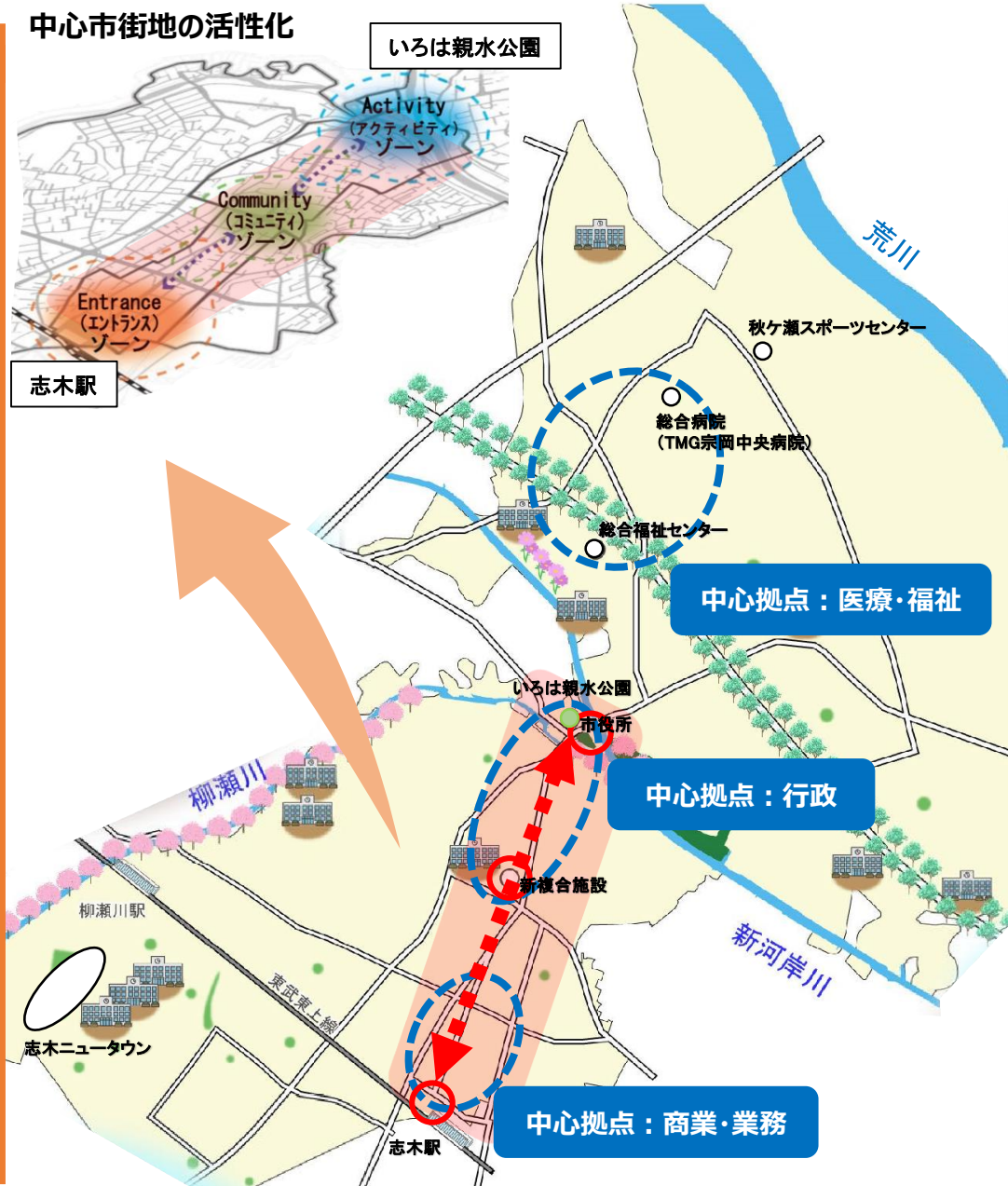
### アクティビティゾーン

市役所やいろは親水公園等、地域内外から多くの人が集まるにぎわいの場としてイベントの充実と、いろは商店街への回遊促進を図る



いろは親水公園

## 中心市街地の活性化



いろは親水公園

志木駅

荒川

秋ヶ瀬スポーツセンター

総合病院  
(TMG栗岡中央病院)

総合福祉センター

中心拠点：医療・福祉

中心拠点：行政

中心拠点：商業・業務

いろは親水公園  
市役所

新複合施設

柳瀬川駅

志木ニュータウン

志木駅

## スマート

- ・アプリ等を活用した、市民等の自発的な健康づくりへのインセンティブとなる施策
- ・デジタルサイネージ等を活用した地域情報の発信



いろは健康ポイント事業



デジタルサイネージ

## レジリエント

- ・非常時でも途絶えない電源の確保
- ・公共施設の再整備による防災拠点化



太陽光パネル

中心市街地活性化を軸とした、市全域におけるコンパクト・スマート・レジリエントなまちづくり



新座市版スーパー・シティプロジェクト

**概要** 官民連携による複合施設の整備等により都市拠点の強化を図るとともに、拠点間を結ぶネットワークを構築・強化することで、災害に強く、にぎわいや魅力あふれる豊かなまちを目指す。

- 課題**
- ・少子高齢化の進展、公共施設の老朽化・維持管理費の増大
  - ・公共交通機能の強化、交通結節点と拠点間を結ぶ都市交通の確保
  - ・地震等の大規模災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	都市拠点の強化と拠点間のネットワーク化	中～長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志木駅南口周辺での官民連携による新たな複合施設整備(三軒屋公園等複合施設)</li> <li>・三軒屋公園等複合施設におけるコミュニティ施設と公園の連携及び民間活力活用による更なるにぎわいの創出</li> <li>・新座駅周辺における土地区画整理事業による良好な都市基盤の整備、都市機能の強化</li> <li>・拠点間を結ぶシンボルロードの整備</li> <li>・公共施設の再配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携による施設整備・運営</li> </ul>
スマート	スマート技術及びビッグデータの活用による質の高いサービス提供や交通・移動・交流環境の向上	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート技術活用による利用者への質の高いサービス提供や公共施設の効率性・利便性の向上</li> <li>・シェアサイクル利用状況データ等を活用したシンボルロードへの自転車通行空間の整備や交通・移動・交流環境の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的なデジタル技術を活用した施設管理</li> <li>・電動シェアサイクル(利用状況データの提供)</li> </ul>
レジリエント	災害に対するレジリエンスの強化	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設への太陽光発電・蓄電池の設置及びEVバスからの電源供給による災害時の電源確保</li> <li>・LED無停電照明灯の設置</li> <li>・災害のリアルタイム情報の取得・発信</li> <li>・駅周辺やシンボルロードの無電柱化の推進</li> <li>・シンボルロード整備や幹線道路ネットワークの強化による拠点間をつないだ災害に強いまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電・蓄電池</li> <li>・再生可能エネルギー</li> <li>・EVバスによる電源供給</li> <li>・LED無停電照明灯</li> </ul>

# 新座市版スーパー・シティプロジェクト


## 【コンパクト】 都市拠点の強化と 拠点間のネットワーク化

- ・志木駅南口周辺での官民連携による三軒屋公園等複合施設整備
- ・新座駅北口土地区画整理事業の推進
- ・拠点間を結ぶシンボルロードの整備
- ・公共施設の再配置




三軒屋公園等複合施設 イメージ図

## 【凡例】

 市街地ゾーン

 拠点

 シンボルロード(東久留米・志木線等)



## 【スマート】

スマート技術及びビッグデータの活用による  
質の高いサービス提供や交通・移動・交流環境の向上

- ・スマート技術活用による利用者への質の高いサービス提供や公共施設の効率性・利便性の向上
- ・シェアサイクル利用状況データ等を活用したシンボルロードの自転車通行空間の整備や交通・移動・交流環境の向上



自転車通行空間の整備例

## 【レジリエント】

災害に対するレジリエンスの強化

- ・公共施設への太陽光発電・蓄電池の設置
- ・EVバスからの電源供給
- ・LED無停電照明灯の設置
- ・災害のリアルタイム情報の取得・発信
- ・駅周辺やシンボルロードの無電柱化推進

無電柱化の例



EVバスの例  
(にいバス)

八潮市

市全域

八潮市版スーパー・シティプロジェクト ～「住みやすさナンバー1のまち 八潮」の実現に向けて～

概要	「住みやすさナンバー1のまち 八潮」を実現するため、都市核・地域核の形成、ICT技術・再生可能エネルギーの活用等により、八潮市に住むこと、住み続けることが誇りに思えるようなまちづくりを推進する。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来的な人口減少・少子高齢化の進行に伴う、コミュニティの衰退や市街地の空洞化等</li> <li>○都市の魅力や活力の低下</li> <li>○頻発化・激甚化する台風や大雨に伴う水害、切迫する首都直下地震への備え</li> </ul>

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	都市核・地域核を中心としたコンパクトなまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所周辺の整備による、人々が集い、賑わいを創出するシビックセンターの形成</li> <li>・各種イベントの開催等による活気と賑わいの創出</li> <li>・市北部でのスマートIC・(仮称)道の駅等の整備による、交通利便性を活かした拠点の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設のリニューアル整備</li> <li>・各種機能の維持・集積</li> <li>・産業施設の立地誘導</li> </ul>
スマート	ICT技術を活用した情報伝達や移動手段の充実	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信機能を活用した情報発信の強化</li> <li>・拠点、地域資源をつなぐ、市内路線バスの再編等の公共交通網の充実や、BRT等の新たな移動手段の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段等の充実</li> </ul>
レジリエント	持続可能で災害に強いまちづくり	中～長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等へ再生可能エネルギー設備等の整備による災害時における電源確保に向けた仕組みの構築</li> <li>・自主防災組織の地区防災計画の作成や防災士の養成による地域のつながりや地域防災力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄電池</li> <li>・太陽光発電</li> <li>・再生可能エネルギー</li> </ul>

# 市全域での取組み

## 公共交通網の充実



- ・拠点、地域資源をつなぐ、公共交通網の充実
- ・BRTなどの新たな交通システムの導入検討 等

## 地域防災力の向上



- ・防災訓練等を通じ、市民の防災知識の普及啓発を図るとともに、自主防災組織の育成及び活動支援を行い、地域のつながりや地域防災力の強化

## 北部拠点の形成



※この図はイメージであり、図中の施設が必ずしも立地するものではありません。

良好な交通アクセスを活かした(仮称)外環八潮パーキングエリアの整備やスマートインターチェンジの設置、地域振興施設の集積等、広域的な連携や機能導入を行うとともに、周辺的生活環境や教育環境等に配慮した緑豊かな北部拠点を形成

## 拠点ごとの取組み

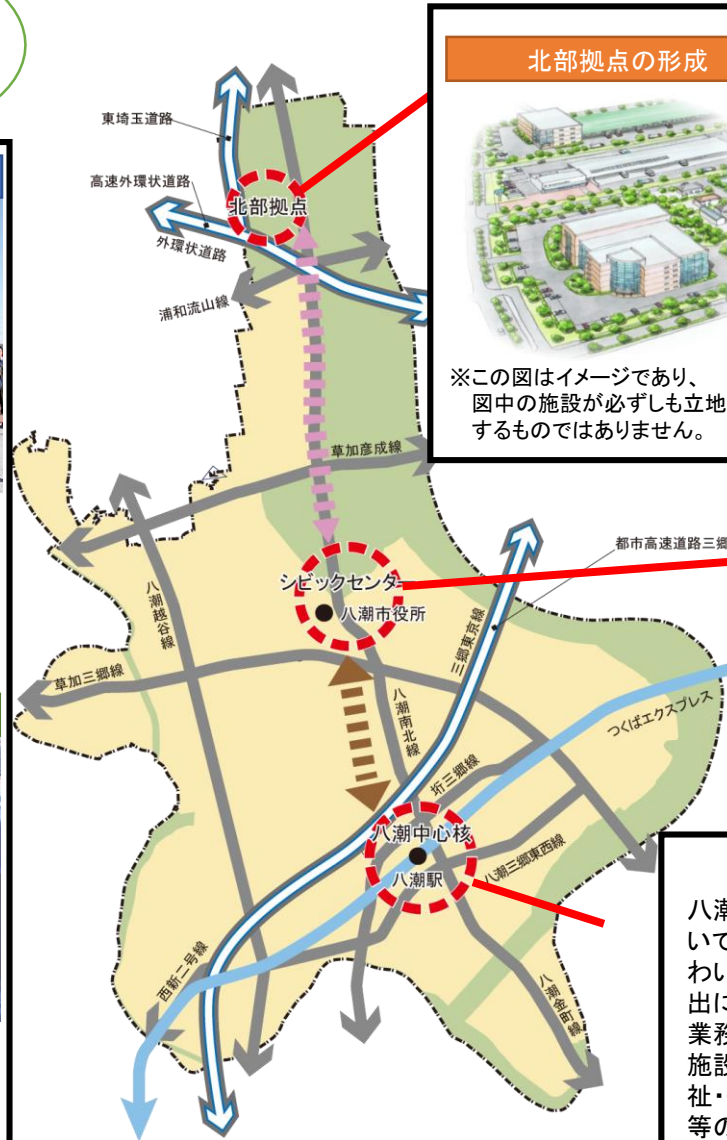


ハッピーこまちゃん®

## シビックセンターの形成



市役所周辺の公益・文化施設等の多様な機能の維持・集積等による、賑わいを創出する拠点の形成



## 八潮駅前の活気と賑わい創出



八潮駅周辺において、活気と賑わいの維持・創出に向けた商業業務施設、公益施設、医療・福祉・子育て施設等の多様な機能が集積した拠点の形成

※将来都市構造図一部抜粋

日高市版スーパー・シティ構想

**概要**

- 歩いて暮らせるまちづくりを進めるとともに、地域の人と人とのふれあいの中で「健幸」を実感し、誰もが安心して住み続けられる「ふれあい清流文化都市」を実現する
- ゼロカーボンシティ共同宣言に基づき、再生可能エネルギーの利用・促進に取り組むとともに、防災訓練等の実施による防災意識の高揚を図る

**課題**

- 人口減少・少子高齢化に伴う地域の活力や賑わいの低下
- 多様化・複雑化する地域課題や高度化する住民ニーズへの対応
- 東日本大震災や令和元年東日本台風など激甚化・頻発化する自然災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	ウォーカブルなまちづくりと地域活力の向上	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高麗川駅東口開設による市街地の利便性向上と賑わいの創出</li> <li>旭ヶ丘松の台土地区画整理事業による職住近接となる産業用地を主とした街並みの整備</li> <li>「遠足の聖地日高」、水辺deベンチャーチャレンジなどを基軸とした観光拠点の整備</li> <li>地域での支えあい活動やコミュニティー活動の地域拠点の整備</li> <li>高齢者等の移動困難者への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>賑わい創出のための施設</li> </ul>
スマート	先端技術を活用した住民サービスの向上	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTやDXの推進等による住民サービスの向上</li> <li>デジタル技術等を活用した健康増進事業</li> <li>デジタルサイネージを活用した観光情報や災害情報の発信</li> <li>防災におけるICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民向けアプリ</li> <li>デジタルサイネージ</li> </ul>
レジリエント	自然災害に対する防災力の強化	長期(10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校等の避難場所への再生可能エネルギーの導入</li> <li>職住近接となる高萩北部エリアにおける災害時の電源確保</li> <li>災害時の復旧拠点となる市役所等におけるEV、蓄電池、電源供給スポットの導入</li> <li>防災、減災となる訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓄電池、太陽光発電</li> <li>再生可能エネルギー</li> <li>ESCO事業</li> </ul>

# 日高市版スーパー・シティ構想 イメージ

## 【観光エリア】

- ・「遠足の聖地日高」、水辺deベンチャーチャレンジなどを基軸とした観光拠点の整備



## 【高萩北部エリア】

- ・旭ヶ丘松の台土地区画整理事業による職住近接となる産業用地を主とした街並みの整備
- ・職住近接となる高萩北部エリアにおける災害時の電源確保



	住居系地域
	商業系地域
	工業系地域
	産業系新市街地地域
	農業系地域
	森林保全地域
	集落地域
	ゴルフ場
	ふれあいゾーン
	鉄道
	国・県道
	自動車専用道路



## 【全域】

- ・地域での支えあい活動やコミュニティー活動の地域拠点の整備
- ・高齢者等の移動困難者への支援
- ・ICTやDXの推進等による住民サービスの向上
- ・デジタル技術等を活用した健康増進事業
- ・防災におけるICTの活用
- ・学校等の避難場所への再生可能エネルギーの導入
- ・防災、減災となる訓練の実施



## 【高麗川エリア】

- ・高麗川駅東口の開設による市街地の利便性向上と賑わいの創出
- ・災害時の復旧拠点となる市役所等におけるEV、蓄電池、電源供給スポットの導入
- ・デジタルサイネージを活用した観光情報や災害情報の発信



伊奈町版スーパー・シティプロジェクト ～日本一住んでみたいまちを目指して～

**概要** コンパクトなまちを目指すため、既存のにぎわい拠点であるバラ園や伊奈氏屋敷跡に加えて、役場新庁舎及び志久駅周辺等に新たなにぎわい拠点を創出する。また、先端技術の活用により、全ての住民と来町者の利便性を高めるとともに、持続可能で災害に強いまちづくりを推進する。

**課題**

- ・将来的な町の人口減少に備えた対策
- ・高齡化の進展等に伴う交通弱者への支援
- ・公共施設の老朽化や耐震性不足
- ・従来型コミュニティの希薄化
- ・激甚化する災害に備えた体制の整備

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	コンパクトなにぎわい拠点の創出とコミュニティの活性化	中期～長期(5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場新庁舎に図書館等の公共施設を集約・複合化し、町のにぎわい拠点を創出する</li> <li>・学校・病院・企業の立地が進む志久駅周辺等の利便性を向上させ、駅周辺を核としたにぎわい拠点を創出する</li> <li>・空き家や空き店舗等の流通性を高めて、ワーキングスペースの整備など建物の有効活用を図り、町やコミュニティのにぎわいを創出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎建設・活用に係る技術提案</li> <li>・事業者による営業施設</li> <li>・空き家等の活用支援</li> </ul>
スマート	先端技術の活用によるスマートなまちづくりの実現	中期～長期(5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートモビリティの活用により移動手段を充実させて、にぎわい拠点と駅間など、町内での回遊性を高める</li> <li>・リモート窓口を町の北部と南部に設置し、役場庁舎への来庁が困難な方への相談支援体制の充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動シェアサイクル等のスマートモビリティの導入支援</li> <li>・リモート窓口の導入支援</li> </ul>
レジリエント	災害に強いまちづくりの強化	中期～長期(5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場新庁舎等に太陽光発電や蓄電池、EV等を整備し、災害時でも途絶えない電源を確保する</li> <li>・気象観測装置や水位計、震度計等に係るGISデータの公開により災害への備えを強化する</li> <li>・官民連携等の活用により災害情報の発信を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入支援</li> <li>・災害情報等の発信技術の提供</li> </ul>

# 伊奈町版スーパー・シティプロジェクト ～日本一住んでみたいまちを目指して～

- 役場新庁舎及び志久駅周辺等におけるにぎわい拠点の創出
- 先端技術の活用による持続可能で災害に強いまちづくりの実現

エリア全体

- 【コンパクト】
- ・空き家や空き店舗等の有効活用
- 【スマート】
- ・太陽光発電を利用した電動シェアサイクル等の導入
- 【レジリエント】
- ・気象観測装置等に係るGISデータの活用、災害情報の発信強化(防災情報サービス用屋内型専用端末)



北部・南部エリア

- 【スマート】
- ・リモート窓口の設置



バラ園

中部エリア

- 【コンパクト】
- ・役場新庁舎への公共施設の集約
  - ・志久駅、伊奈中央駅周辺等を核としたにぎわい拠点の創出
- 【レジリエント】
- ・役場新庁舎等における電源確保



地域活性化エリア



伊奈氏屋敷跡





川島町

町全域

かわじまスーパー・シティプロジェクト ～ここが好き、やっぱり好き～

**概要** 川島IC周辺を中心として、行政系エリアや各地区に拠点を整備し、拠点間交流のための公共交通ネットワークを新たに構築し、町の活性化を図る。加えて、太陽光発電・蓄電システムを積極的に導入するなど、あらゆる防災対策を取入れ、深化させることによって、町民の安全・安心な暮らしを守り続ける。

**課題**

- ・合計特殊出生率の低下及び高齢化率の上昇が加速度的に深刻化し、人口減少による様々な問題が顕在化している。
- ・主要産業である農業では、過去20年間ほどで就農者数が半減し、遊休農地は直近3か年で約1.7倍増加している。
- ・町内全域が浸水想定エリアかつ、軟弱地盤であることから災害リスクが高い。

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	各地域の特性に応じた賑わいのある拠点形成	中長期(5-10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川島IC周辺を産業拠点とし、産業の活性化を促進</li> <li>・役場周辺における行政サービス・交流機能の強化</li> <li>・公民館や廃校舎等を活用し、地域住民が交流する拠点を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業団地への進出を希望する企業</li> <li>・役場周辺の賑わい・交流創出</li> <li>・廃校や公園等の有効利用</li> </ul>
スマート	スマート技術を活用した交通ネットワーク及び農業の活性化	中長期(5-10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点間交流や通勤通学のため、既存公共交通の機能拡充やスマートモビリティを活用した公共交通ネットワークの構築</li> <li>・農業活性化のため、スマート技術を活用した農業の省力化・効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなモビリティ導入の提案及び実証実験</li> <li>・スマート農業技術</li> </ul>
レジリエント	防災対策及びレジリエンスの確保	中長期(5-10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地等への太陽光発電の設置や、公共施設へEV充電スタンドの設置により、災害時電源を確保</li> <li>・官民連携による避難場所の設置、災害支援物資の安定供給及び太陽光発電・蓄電池設置の推進</li> <li>・河川監視カメラや水位計の設置による避難の判断に資する迅速な情報提供</li> <li>・大規模水害発生に備え、高台避難場所等を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電・蓄電施設及び営農型太陽光発電技術</li> <li>・災害時協定の締結</li> <li>・河川監視カメラや水位計の設置による町民への迅速な情報提供技術</li> </ul>

## コンパクト

- ・産業活性化を促進（圏央道川島IC周辺）
- ・行政サービス・交流機能の強化（役場周辺）
- ・地域住民が集い交流する拠点整備（公民館や廃校、空き家等）



川島IC



地区拠点

## スマート

- ・既存公共交通の機能拡充やスマートモビリティを活用した公共交通ネットワーク構築（拠点間）
- ・スマート技術を活用した農業の省力化・効率化



既存交通



スマート農業

## レジリエント

- ・農地や公共施設等への太陽光発電や蓄電池、EV充電スタンドの設置
- ・官民連携による避難場所の設置、災害支援物資の安定供給等
- ・河川監視カメラ・水位計の設置
- ・高台避難場所等の整備



太陽光発電



EV充電スタンド



高台

※イメージ写真



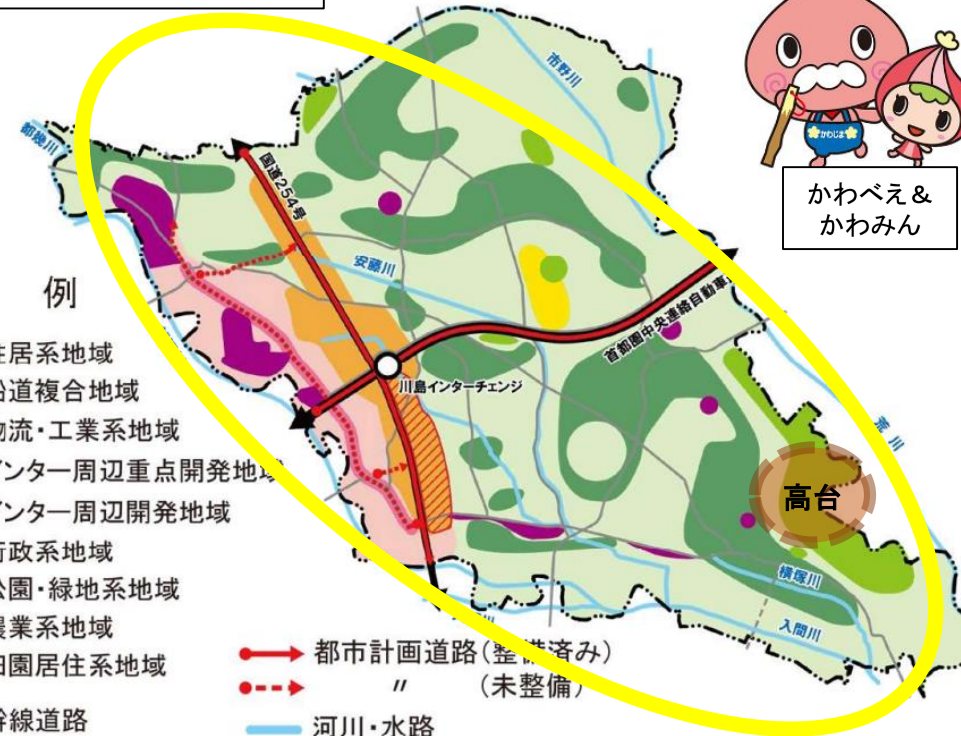
河川監視カメラ

※イメージ写真

## 公共交通ネットワーク構築

### 凡 例

- 住居系地域
- 沿道複合地域
- 物流・工業系地域
- インター周辺重点開発地域
- インター周辺開発地域
- 行政系地域
- 公園・緑地系地域
- 農業系地域
- 田園居住系地域
- 幹線道路



かわべえ&かわみん

いつまでも輝き続けるまち「はつらつ長瀬」

概要	人口減少・少子高齢化が急激に進む中、持続可能なまちづくりを実現するため、地形的制約により集落がコンパクトにまとまった特徴や県内有数の観光地であることを生かし、観光客などの交流人口・関係人口を巻き込みつつ、町民一人ひとりがいつまでも輝きつづけるまちを目指す。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少が進む状況下での、地域活力やコミュニティの維持・存続</li> <li>・厳しい財政見通しや人口構造の変化等を考慮した公共施設の維持管理や規模・配置の適正化</li> <li>・大規模災害への備え</li> </ul>

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	地域交流拠点を活用した地域コミュニティの充実	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流拠点である多世代ふれ愛ベース長瀬の運営</li> <li>・官民連携による空き家・市民農園を活用した農泊・農業体験を通じた関係人口と町民との交流のための地域拠点整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わいづくり</li> <li>・空き家等の利用</li> </ul>
スマート	デジタル技術を活用した地域課題の解決	短中期 (3～5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携による移動販売車を活用したオンライン健康相談</li> <li>・QR観光ガイドマップを活用したスマートツーリズムの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売</li> <li>・観光振興</li> </ul>
レジリエント	災害時にも強い「持続可能な」まちづくり	短中期 (3～5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電等による非常時における電源の確保</li> <li>・EV充電器や太陽光発電の整備によるGXの推進</li> <li>・官民連携による移動販売車を核とした地域交流の場の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電</li> <li>・カーボンニュートラル</li> </ul>

# いつまでも輝き続けるまち「はつらつ長瀬」

## 地域生活拠点エリア

主要な公共施設、スーパーマーケット・ドラッグストアなどの店舗、病院が集中しているエリア

### コンパクト

地域交流拠点である多世代ふれ愛ベース長瀬の運営



### レジリエント

太陽光発電等による非常時における電源の確保



### スマート

### レジリエント

官民連携による移動販売車を核としたオンライン健康相談や地域交流の場の創出



## 観光拠点エリア

観光名所である岩畳や宝登山神社があり、多くの観光客が訪れるエリア

### スマート

QR観光ガイドマップを活用したスマートツーリズムの実現

### レジリエント

EV充電器の設置によるGXの推進



### コンパクト

官民連携による空き家・市民農園を活用した農泊農業体験を通じた関係人口と町民との交流のための地域拠点整備

